

アウトセット折戸

取扱説明書 / 施工要領書

アウトセット折戸 すき間隠し縦枠付 (OSD-01)
アウトセット折戸 (OSD-02)

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管する。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。

マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- ⊘ 禁止行為
- ❗ 必ず行う

安全上のご注意

- 取付け前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

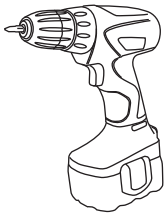
⚠ 警告

- ❗ アウトセット折戸は絶対に指定サイズ以外の扉や、他社製品と組合わせて使用しない。

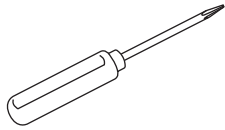
⚠ 注意

- ❗ 施工は本要領書に従って行う。
- ⊘ この製品は一般住宅トイレ開口向けの為、750mm以上の開口では使用しない。
また、室外や湿気の多い場所には使用しない。
- ⊘ 折戸本体は立てかけて保管しない。
- ⊘ 各部品に、木粉等のごみくずが入り込まないように注意する。
- ⊘ 照明灯、ストーブ等の熱源の前で使用しない。
- ⊘ 折戸本体や各種部品類を高いところから落としたり、ぶついたり、引きずったりしない。
- ⊘ 角型引手ハンドルにぶらさがったり、折戸を勢いよく開閉したりしない。
- ⊘ 製品の分解・改造は絶対にしない。
- ⊘ 海外で使用しない。※本製品は日本国内専用

必要工具



電動ドライバー



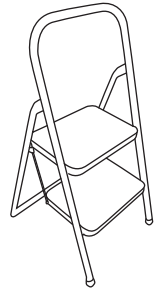
⊕ドライバー



マスキングテープ



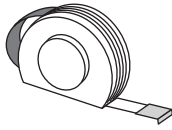
下げ振り



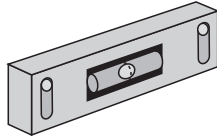
踏台



φ3キリ



コンベックス



水平器

部品明細

①アウトセットレールカバー
【数量】1本
【材質】PVC+SPVC樹脂

②アウトセットレール
【数量】1本
【材質】アルミ
【付属品】⊕なべタッピンねじ 4×50 3本

③持出用合板
【数量】1枚
【材質】合板(t15mm)

④サイドキャップL/R
【数量】各1個
【材質】ABS樹脂
【付属品】⊕なべワッシャーヘッド タッピンねじ 3.5×10 2本

⑤上ローラー
【数量】2個
【材質】POM+鉄

⑥上ローラー固定金具
【数量】1個
【材質】鉄

⑦角型引手ハンドル
【数量】2個
【材質】亜鉛合金
【付属品】⊕トラス小ねじ M4×35 4本

⑧ねじ隠しキャップ
【数量】4個
【材質】エラストマ

⑨戸先振れ止め金具
【数量】1個
【材質】鉄+ナイロン
【付属品】⊕皿タッピンねじ 3×16 2本

⑩戸先振れ止めガイド
【数量】1個
【材質】POM
【付属品】⊕皿タッピンねじ 3.5×16 3本

⑪ピボット
【数量】1個
【材質】鉄+ナイロン

⑫ピボット軸受け金具
【数量】1個
【材質】鉄
【付属品】⊕トラス木ねじ 4×16 2本

⑬折戸本体
【数量】1セット
【材質】LVS+オレフィン系シート巻

スパナ
【数量】1個
【材質】鉄

OSD-01 について
すき間隠し縦枠が同梱されています。
取付け方法は P.6 をご参照ください。

①～⑬は現場取付けです。
明かり窓等その他部品は、折戸本体に
セット済みです。

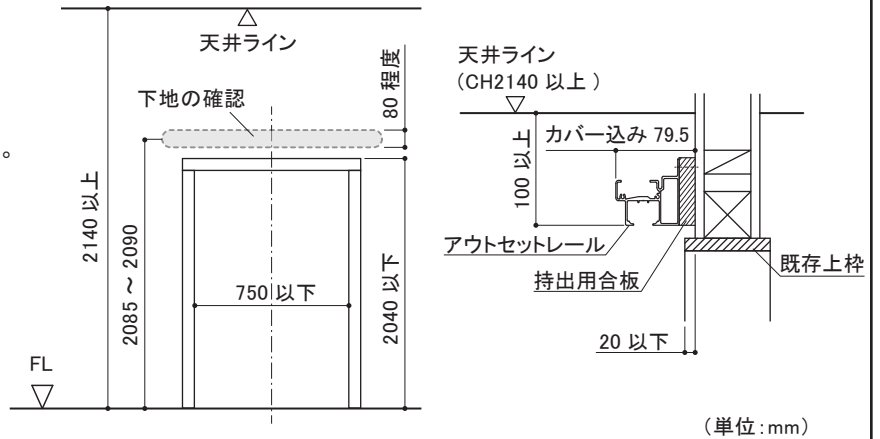
※左図⑥、⑨、⑩、⑪、⑫の位置は左吊元の場合です。右吊元の場合は反転してご使用ください。

施工手順 取付方法

1 取付け寸法・下地の確認

以下を確認する。

1. 既存上枠上部に下地があること。
2. 既存上枠と壁のチリが20mm以下であること。
3. 天井高さが2140mm以上あること。
4. 既存の開口が枠内で、幅750mm以下、上枠高さ2040mm以下であること。
5. 照明スイッチの位置が折戸施工想定位置に被ることがないこと。

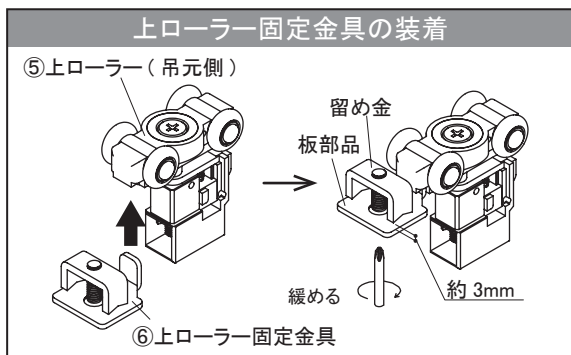


(単位:mm)

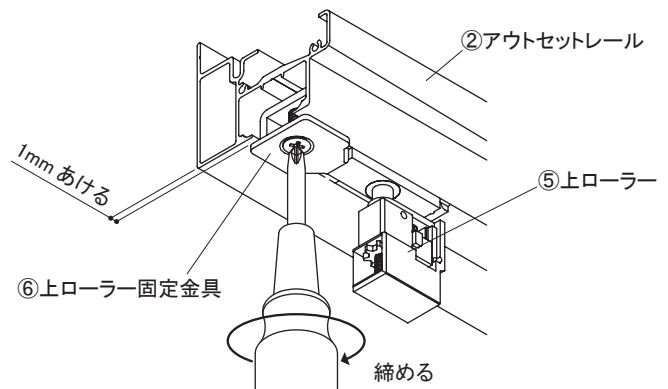
- ❗ 必ず間柱や合板のような強度が十分にある下地に固定する。
- ❗ 開口が750mm以下、上枠高さ2040mm以下、天井高さ2140mm以上であること。

2 上ローラーの取付け

1. 上ローラー固定金具を吊元側の上ローラーに装着する。
2. 上ローラー固定金具のねじを緩め、留め金と板部品のすき間を約3mmあけて吊元側のアウトセットレールに挟むように挿入する。
3. アウトセットレールの端から1mmのすき間をあげ、上ローラー固定金具のねじをしっかりと締めて固定する。



※⑤上ローラーと⑥上ローラー固定金具の挿入感は安全の為、非常に固くなっております。力強く押し込んでください。

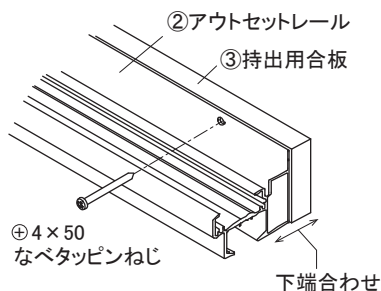


※図は左吊元の場合です。右吊元の場合は反転してご使用ください。

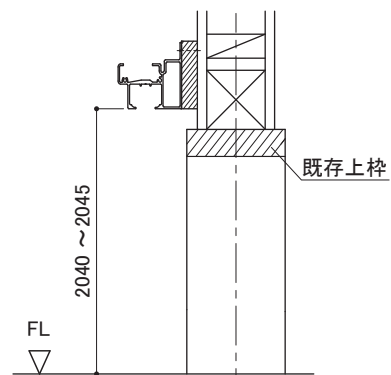
- ❗ 上ローラーは必ず、アウトセットレールを壁に取付ける前にセットする。

3 アウトセットレールの取付け

1. 持出用合板にφ3の下穴を3か所あけ、付属のねじでアウトセットレールと仮止めする。
2. 取付け位置と、その場所に下地があることをよく確認し、水平器で水平を確認しながらアウトセットレールを固定する。アウトセットレールは、FLからアウトセットレール下端まで2040～2045mmの範囲で取付ける。



※仮止めはねじが持出用合板を貫かない程度にすると施工しやすくなります。

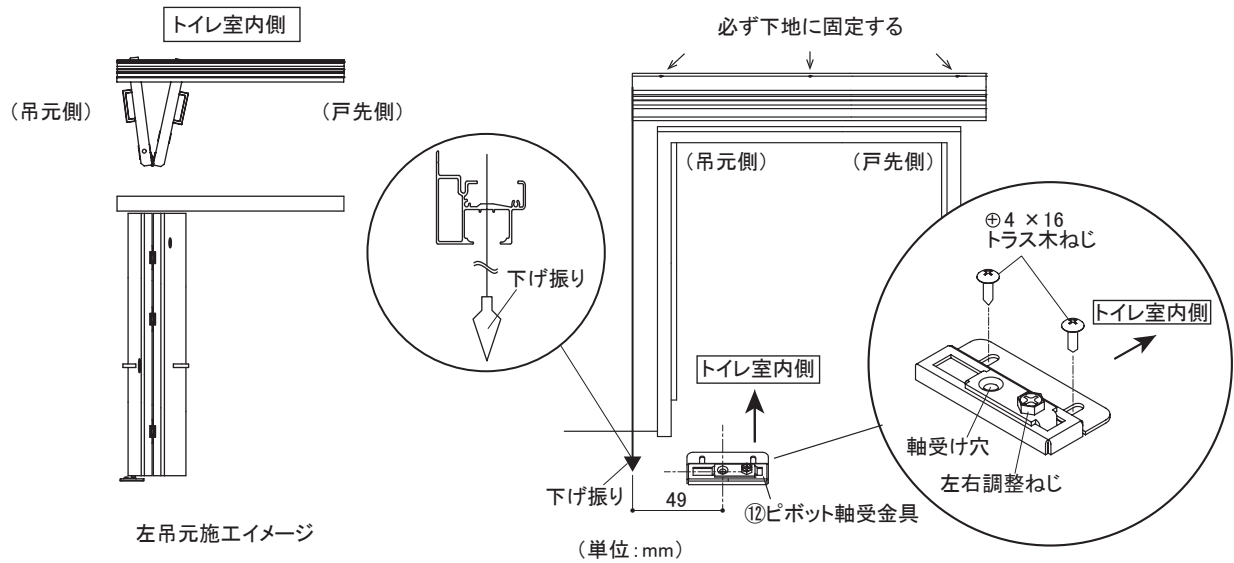


(単位:mm)

- ❗ 持出用合板とアウトセットレールは下端を合わせる。
- ❗ 必ず間柱や合板のような強度が十分にある下地に固定する。

4 ピボット軸受け金具の取付け

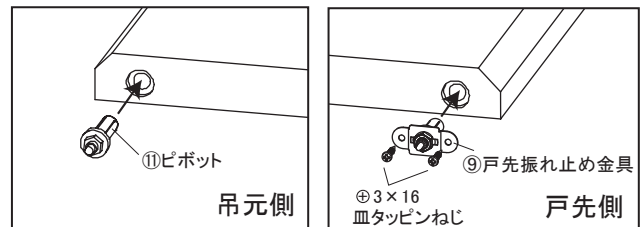
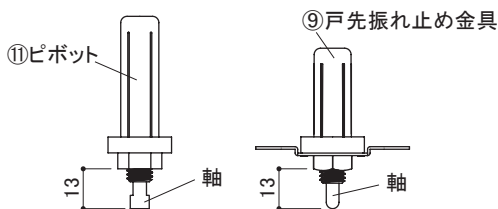
1. 折戸の開く方向(吊元側)を確認し、下げ振りを吊元側のアウトセットレール端部および、中心から垂らし、おもりの頂点から戸先側へ向かって水平に49mmの位置を床面にマークする。
2. マークした位置にピボット軸受け金具の軸受け穴を合わせ、付属のねじで固定する。



❗ ピボット軸受け金具のねじ固定側をトイレ室内側に向けて固定する。

5 ピボット・戸先振れ止め金具の取付け

1. ピボット・戸先振れ止め金具のナット部分を回し、下図を参考に軸の長さが約13mmになるよう調整する。
2. 折戸の開く方向(吊元側)を確認した後、ピボットを吊元側へ挿入し、戸先振れ止め金具を戸先側へ付属のねじで固定する。

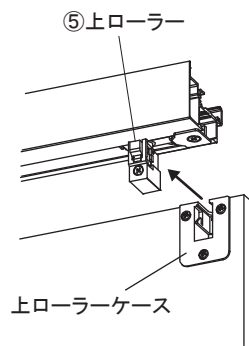
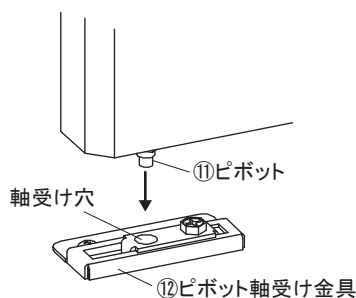


❗ 必ず折戸本体に取付ける前に調整する。

※戸先振れ止め金具は、固定すると上下調整ができなくなります。

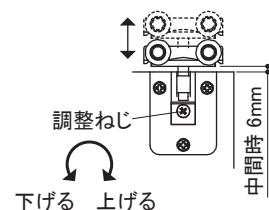
6 折戸本体の取付け

1. 折戸本体を閉じるように折り、持ち上げて吊元側下部に取付け済みのピボットを、ピボット軸受け金具の軸受け穴に挿し込む。
2. トイレ室内側に回り、吊元側の上ローラーを折戸本体上部に取付け済みの上ローラーケースに装着する。



※上ローラーが装着しにくい場合は調整ねじを回し、上ローラーが上ローラーケースより下側となるように調整してください。

※場合によっては上ローラーの軸とアウトセットレールが接触する為上げすぎ、下げすぎに注意してください。



※上下 5mm の調整ができます。

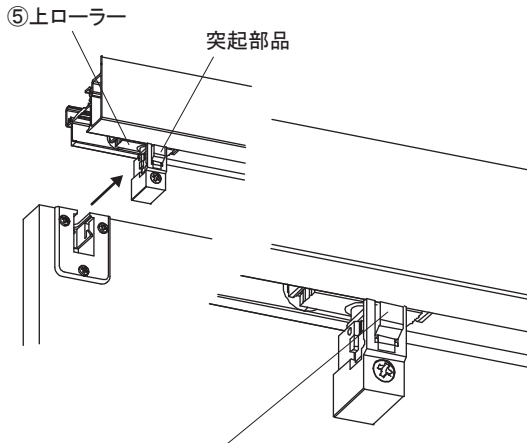
⚠ 注意

❗ ピボットは確実に軸受け穴に挿入する。

※指詰め恐れがあります。施工時は十分に気をつけてください。

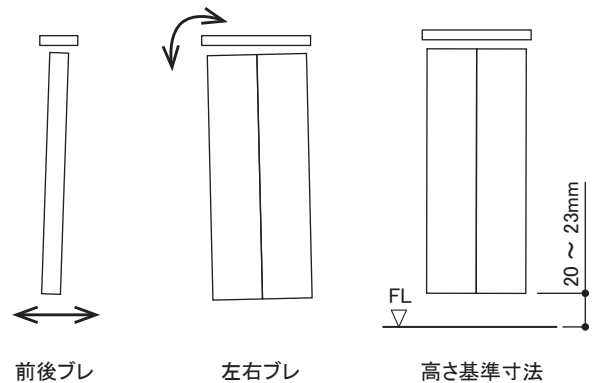
施工手順 取付方法 (※図は左吊元の場合です。右吊元の場合は反転してご使用ください)

3. 同様に戸先側の上ローラーをアウトセットレールへ挿入し、上ローラーケースに装着する。



※折戸本体をはずしたい場合は上ローラーの突起部を手前に引きながら、折戸本体を押してください。

4. 折戸本体にブレがないか、床から折戸本体下部までは20～23mmであるかを確認した後、必要に応じてピボット軸受け金具、またはピボットで調整する。

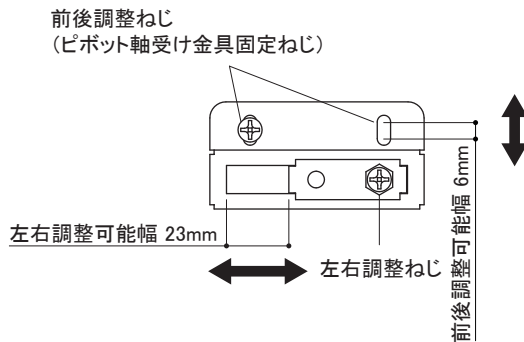


調整のポイント

床面の不陸が大きく、戸先振れ止め金具が床面を擦る場合、手順⑤に戻り、戸先振れ止め金具の軸を短くする等長さを調整してください。

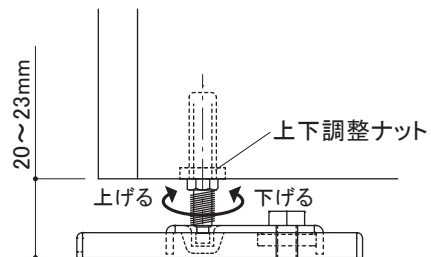
⑦ 折戸の前後・左右・上下調整

1. 前後・左右調整は下図を参考に各ねじを緩めて行う。



※折戸本体が急に動かないように手で押さえてください。

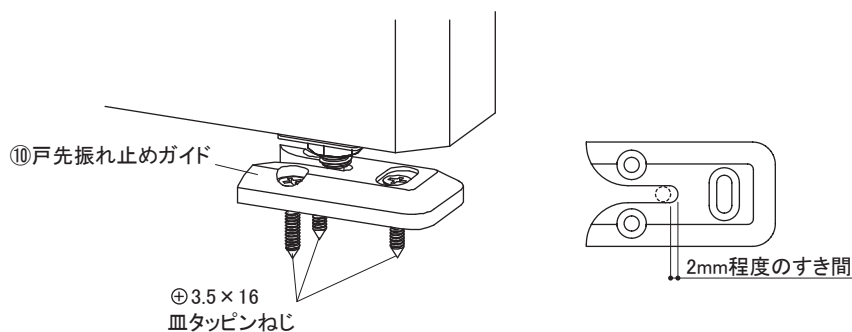
2. 上下調整は床と折戸本体のすき間が20～23mmとなるように折戸本体を持ち上げ、上下調整ナットをスパナで回して行う。



※うまく調整ができない時は、一度折戸本体を取りはずしてから上下調整ナットを回してください。

⑧ 戸先振れ止めガイドの取付け

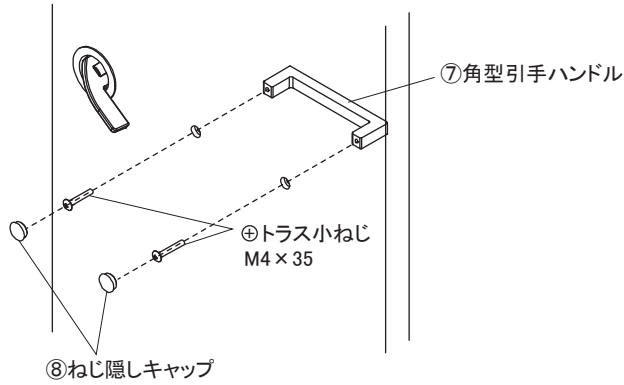
1. 戸先振れ止めガイドを戸先振れ止め金具の軸位置と合わせ、2mm程度のすき間をあけ付属のねじで床に固定する。



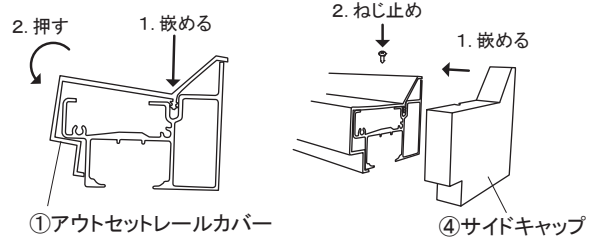
施工手順 取付方法

⑨ その他部品の取付け

角型引手ハンドル、ねじ隠しキャップ、アウトセット
レールカバー、サイドキャップを取付けて完了。



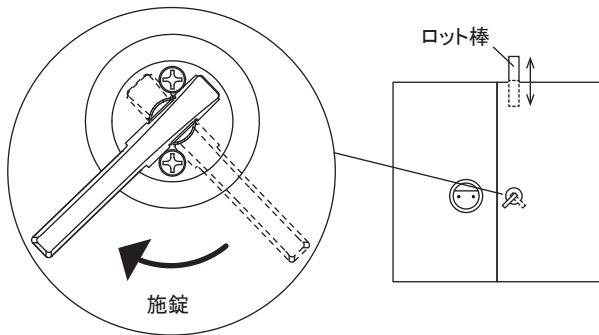
アウトセットレールカバー、サイドキャップの取付け



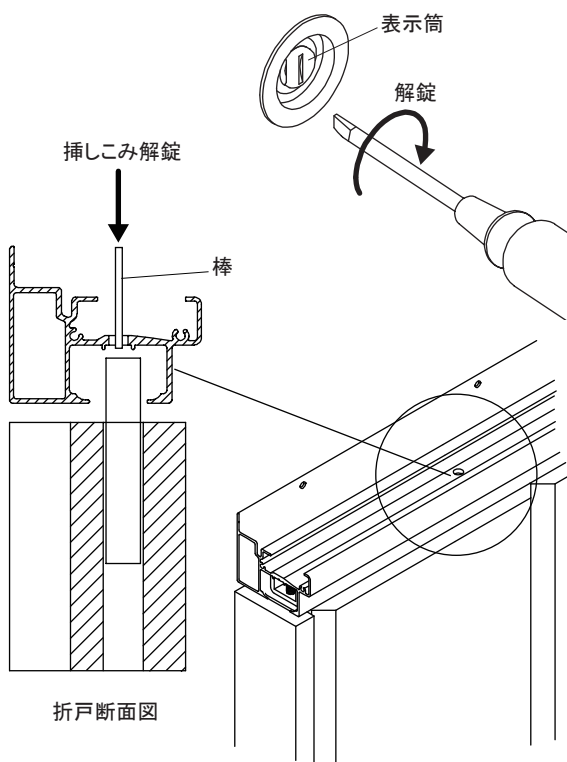
※サイドキャップは廊下のつき当りなどスペースが無い場合は
使用しません。

表示錠の動き

折戸の動作確認時、アウトセットレールへ施錠する前に、レバーを
回しロット棒が上下することを確認する。



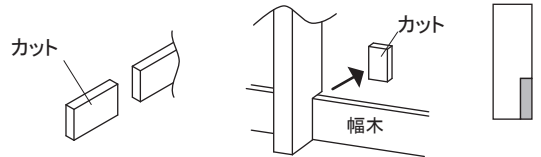
緊急解錠の必要がある場合は、表示筒をマイナスドライバーで解錠
するかアウトセットレールカバーをはずし、アウトセットレールにあ
いている穴にφ6以下の棒を挿しこみロット棒を下げる。



すき間隠し縦枠の取付け (OSD-01 のみ)

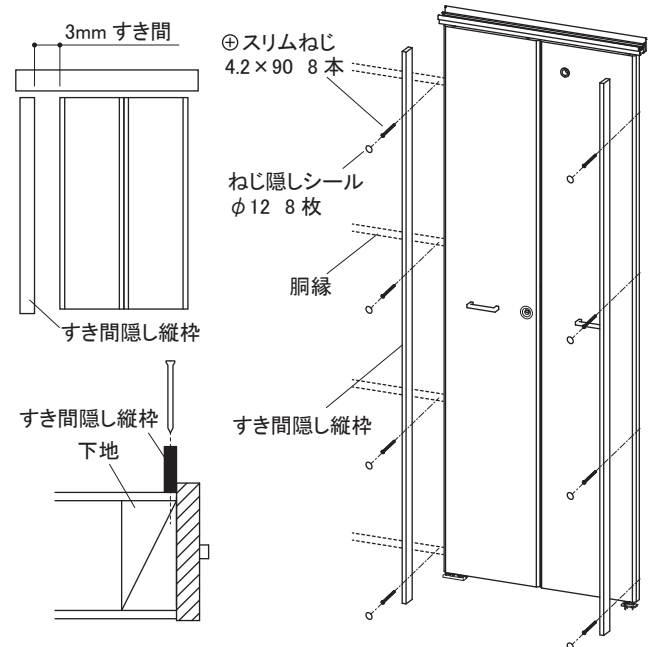
すき間隠し縦枠をアウトセットレールに合わせて取付けることで、
トイレ室内の目隠しと、明かり漏れを防ぐことができます。

1. 床から折戸本体天端までの高さに合わせてすき間隠し縦枠
をカットする。



※幅木や金具が邪魔になる場合は
適宜切り欠いて施工してください。

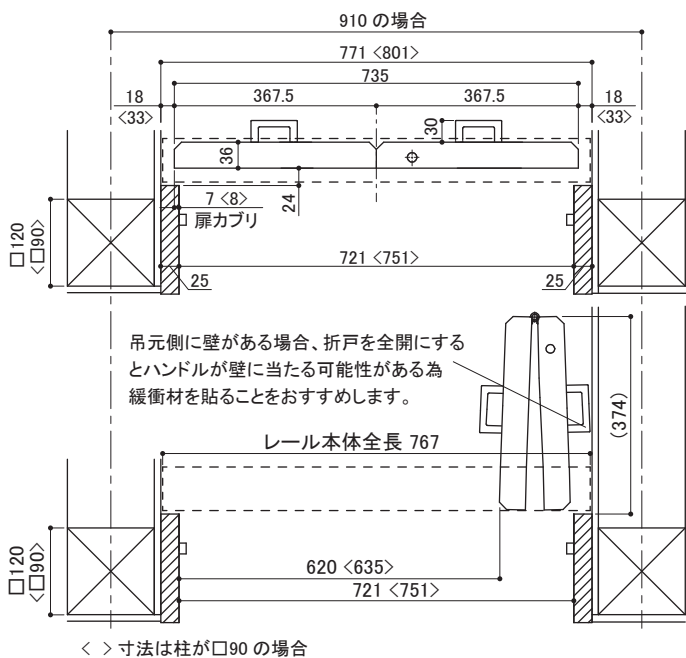
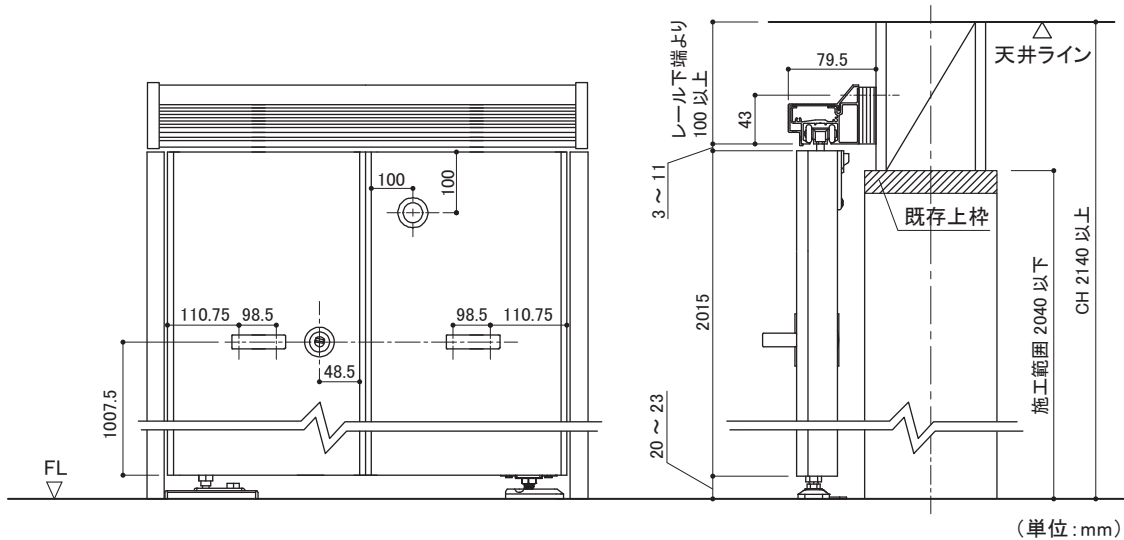
2. 胴縁などの下地があることを確認し、すき間隠し縦枠に下穴
をあけた後、折戸本体側面とすき間隠し縦枠のすき間を
3mm程度あけて付属のねじで取付ける。
3. 付属のねじ隠しシールを貼り完了。



- ❗ 下地を探してねじ止めする。
- ❗ すき間隠し縦枠の中心を狙って下穴をあける。

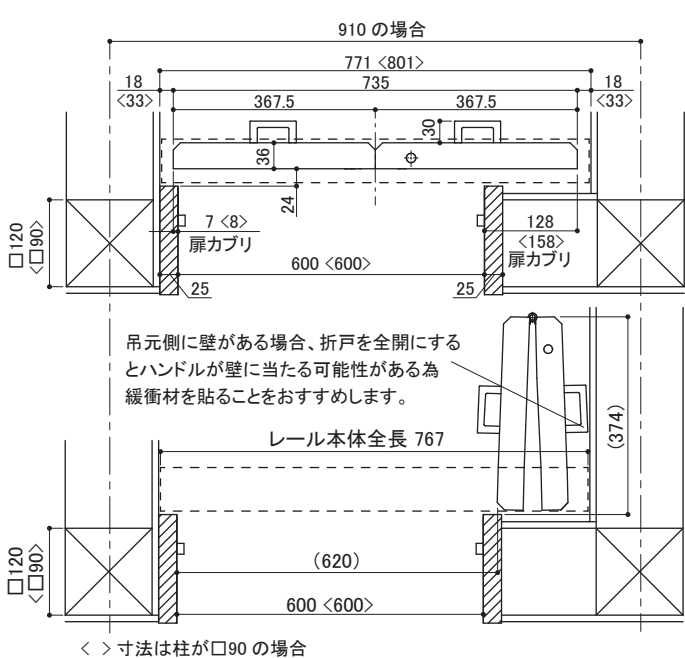
※最上段・最下段ともう1本の片側3か所 (両側6か所) の
ねじは必ず下地に止めてください。

製品図面 (※図は左吊元の場合です。右吊元の場合は反転してご使用ください)



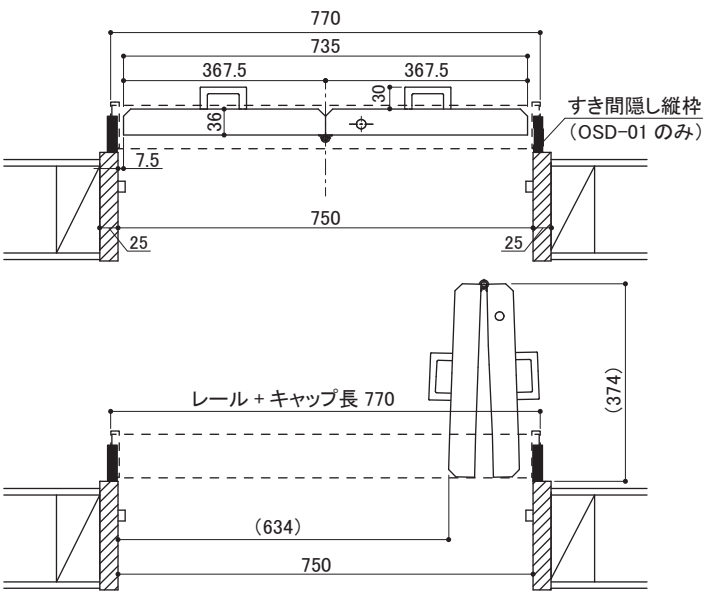
廊下つき当り最大開口

(単位: mm)



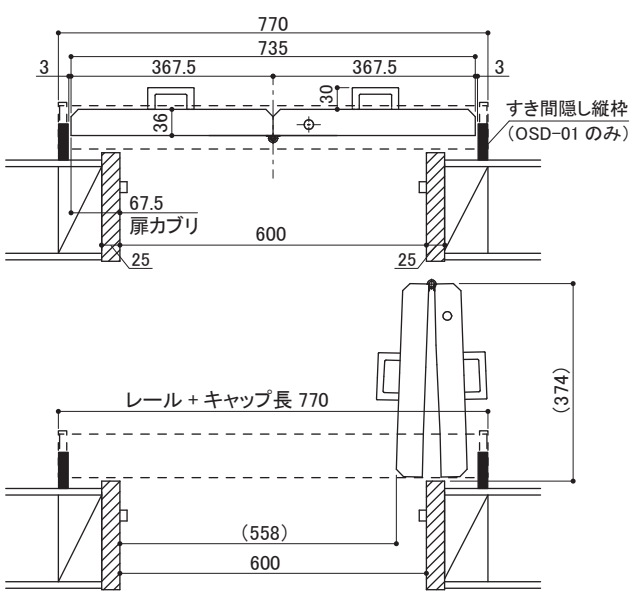
廊下つき当り一般トイレ開口

(単位: mm)



廊下側面最大開口

(単位: mm)



廊下側面一般トイレ開口

(単位: mm)

●保証事項

- ・ 通常的环境下にて、この取扱説明書 / 施工要領書に準じた正常な施工、使用がなされている状態で、弊社の責任に起因する製品不具合（扉、錠の作動不良や反り、剥れ、傷）の修理・交換を行います。（製品の返品などによる調査にて明らかな過失がある場合）なお、本内容は日本国内においてのみ有効です。

●保証期間

- ・ お買い上げ日より 2年
- ・ 故障や欠陥が発生した場合に、お買い上げ後2年以内であれば、無償修理または交換をお約束するものです。ただし下記の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
 - (1) 本書記載以外の使用や禁止行為などに起因するもの
 - (2) 火災、地震、水害などの天災地変ならびに事故等外部要因に起因するもの
 - (3) お買い上げ後の落下、輸送による損傷
 - (4) 使用による外観や本体外部の消耗および傷
 - (5) リサイクル業者や使用者などによる再販など、弊社の責任範囲を超える場合など
 - (6) 日本国外での使用
 - (7) 弊社もしくは弊社指定の修理業者以外による修理など
 - (8) 本書の提示が無い場合
 - (9) 施工不備による損傷および不具合
 - (10) 納入業者名、ご購入日を明記されていない場合

納入業者名：

ご購入日： 年 月 日

 **マツ六株式会社**

〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL: 06-6774-2255 FAX: 06-6774-2248
<https://www.mazroc.co.jp/>

2021年1月18日制定【01】